
活動紹介



活動紹介

種子島医療センターサーフィン部TSC

看護部 看護師 野口 真依

新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、外出などの自粛もなくなり、かつての日常を取り戻し、活気溢れる世の中になってくると思われます。

種子島は太平洋・東シナ海に面しており、様々なサーフポイントがあるため、ほぼ毎日サーフィンが可能な環境です。

私は、大阪から昨年の4月より種子島医療センターへ看護師として転職してきました。その理由として、「サーフィンができる環境で住みたい」、「サーフィンが上手くなりたい」と思ったからです。サーフィン歴は浅く、大阪で住んでいるときからサーフィンをしていましたが中々上達できず、また、大阪から一番近くのサーフポイントへ行く際も車で片道2時間程度かかり、月に2回程度しかサーフィンをすることができませんでした。しかし種子島へ来てからは、休みの日を始め、夜勤前や夜勤明け・日勤終わりに海へ行きサーフィンをすることができるため、リフレッシュすることができ、また仕事への活力ともなり、すごく恵まれた環境の中で生活できていることに日々感謝しています。地元のサーファーさんを始め、日本各地から種子島へ移住してきたサーファーさんたちも優しく、声をかけてくれたり、また、サーフィンをする環境・海やビーチを大事にされています。

種子島医療センターでは、様々な職種の方がサーフィンをされています。波情報の連絡を交換したりと、初めてサーフィンをされる方・興味のある方にも最適なところです。サーフィンだけではなく、海や自然が好きな方や食べることが好きな方は(種子島の魚や野菜などの食べ物・料理はすべておいしいです！)、離島生活に不安はあると思いますが、種子島の方々は温かく、また、移住してきた方も多いのでとても生活しやすい環境であり、充実したものになると思います。



種子島医療センター バスケット部 MEDS

副院長兼眼科部長 田上 純真

当センターの職員有志により6年ほど前に結成されたバスケットボールサークルが、これまでの継続的な活動が評価され、令和4度から種子島医療センターバスケットボール部MEDSとして活動をスタートし、毎週火曜日、木曜日の19:00～21:00と、日曜日の9:30～12:00に、住吉のせいざん病院体育館で練習を行っています。

中学生からおじさんまで一緒にになって和気あいあい、とっても楽しくボールをついたり投げたり取ったりシュートしたりしております。日常のストレス発散、運動不足解消やダイエットにも最適かと思います。

初心者大歓迎。入部届とかそんなお堅いしきたりもないので、気が向いたときに来ていただいて大丈夫！ 興味のある方は、医事課の福山か、リハビリテーションの宿利にご連絡ください。もちろん外部の方でもどなたでも結構ですので、お誘い合わせの上遊びにきてください。あなたのナイスシュートをお待ちしております。



アットホームがモットーのバスケ部です。

エクスプローラーズ鹿児島

副院長兼眼科部長 田上 純真

今年度も協賛をいただくことになり、誠にありがとうございます！

2022年5月、鹿児島市アミュプラザ内のアミュ広場において行われた「3x3 west インターカンファレンスラウンド」では見事優勝を収めることができました。鹿児島大会は日本でも屈指の観客動員があって、大変注目されております。令和5年度もシーズン中は日本各地で開催されるトーナメントをツアードで転戦していきます。

また、令和4年度は、4年ぶりとなる「エクスプローラーズ鹿児島in種子島」が2023年2月25日と26日の2日間に渡って開催され、久しぶりに種子島の子ども達と交流することができました。

今後もバスケットボールクリニックなどを通じて、地元の活性化に寄与できるよう活動してまいります。今後も応援をよろしくお願ひいたします！



3x3ならではの迫力あるプレーはぜひ生で体験してください。



EXPLORERS鹿児島バスケットボールクリニック	
令和5年2月26日(日)	
8:45~ せいざん病院休憩室集合 オキピング	
9:00 ウォームアップ コーディネーション	
9:20 スキルアップ講習 オークコート	
10:40 バスケットボールクリニック ドリブル 飯島 戸島春一郎	
9:40 バスケット ハンドリング ドリブル 飯島 戸島春一郎 田嶋裕太郎	
10:00 1on1 講習 ハーフコートボジングコントロール	
センターポワード インサイドスキル 飯島 戸島春一郎 田嶋裕太郎	
ガード 1on1 ハンドリングスキル 飯島 戸島春一郎 松本圭	
10:25 ウォーターブレイク	
10:30 3x3 の基本 ルール説明 パッセンジドリブル	
10:45 ウォーターブレイク	
11:00 3x3ミニゲーム 5分11回	
ピックアップゲームとA面児童のエキシビションゲーム	
11:40 クールダウン	
11:50 閉幕 大原幸二先生	



「エクスプローラーズ鹿児島in種子島」では、地元の子ども達が大勢集まりました。

病とも闘い、希望を与える選手に

広報企画課 姫野 ナル(プロテニスプレーヤー)

コロナ禍で3年間帰島することができませんでしたが、今年2023年2月に念願の帰島が叶い、久しぶりの種子島は、地元に帰って来た安心感と皆様の温かさで満たされました。

その間もツアーを回るため、練習に励んでおりましたが、2022年4月に舌の浮腫みと頭痛、倦怠感が気になり、活動拠点の大阪で脳神経外科を受診したところ、下垂体に腫瘍が見つかりました。検査入院の結果、先端巨大症(アクロメガリー)と判明し、強迫性障害、舌の巨大化で咀嚼障害を併発。「下垂体性成長ホルモン分泌亢進症」の難病認定を受け、その年の12月に腫瘍の摘出手術をいたしました。

昨年、病気が見つかってからは、手術に向けて検査をしながら大会に出場しました。6月にはスポンサー契約の鹿児島銀行様のメンバーとして九州実業団テニストーナメントに出場。準優勝し、10月に行われた全国実業団テニストーナメントへ進出いたしました。また、手術直前には、国内最高峰の大会である全日本テニス選手権大会に出場し、予選決勝で敗退となりましたが、手応えを掴んだ大会となりました。

腫瘍摘出手術は、鼻から脳へ内視鏡を入れて行うもので、腫瘍と正常下垂体が絡み合う難しい手術でしたが、私が選手として復帰できるようにと、執刀医の先生方が正常な下垂体を最大限残して腫瘍を摘出してくださったそうです。おかげで10時間にも及ぶ手術は成功し 腫瘍も良性でした。

頭痛や尿崩症の合併症に悩まされながらも「これで安心して試合に集中できる」とホッとしたのも束の間、今度は、下垂体が正常に機能していないことが判明し、数種類のホルモンが欠乏する「下垂体前葉機能低下症」という新たな難病で認定申請の手続きを行っております。

完治の難しい難病とはいえ、薬を服用しながらであれば選手活動を続けることはできます。しかし、このような状態でご支援をいただきながら続けて良いものかと思い悩み、心が壊れてしまいそうでした。それでも、薬を飲みながらでも戦えるなら、私のコンセプトであり夢でもある「種子島から世界へ！ 大好きなテニスで大好きな人達を笑顔にしたい！」という思いを諦める理由にはならない、そう思い返しました。

それからは、自分が強くなることで社会に貢献できると信じ、入院中も先生から許可をいただいて、できる限りのトレーニングを行い、退院翌日より練習を再会。2023年5月22日から開催される『関東オープンテニス選手権大会』に出場し、本格的に活動を再開しました。

「なぜ、こんなにも困難が降りかかるのか」とくじけそうになりますが、この病気を抱えて活動するアスリートの例は他にはなく、だからこそ戦うことに意味があり、私の闘う姿を通して困難を抱えている人々に勇気や希望を与えることのできる選手になりたいと思うようになりました。

私が勝つことで応援してくださっている方々に恩返しができる、どんな状況も乗り越えられるなどを証明するために、この病に選ばれたのだと思っています。

今回、新しいコーチを迎え、技術面は手術前より格段に上がりました。メンタル面も病気のおかげで強くなりました。また、病気を通して多くの方々に助けていただく中、医療現場の大変さを目の当たりにし、医療に携わる方々へは改めて感謝しかありません。いつも本当にありがとうございます。今後は、種子島医療センターの所属選手として、病気やケガで苦しんでおら

れる方々やご家族の皆様に希望の光を届けられるようになりたいです。

コロナ禍と治療のため、控えていた海外ツアーも2023年8月以降には開始予定です。益々、精進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



緩和ケア集合研修会報告

看護部長 戸川 英子

令和4年、11月23日、地域がん診療病院である当院主催、がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を開催しました。今年も院外からも医師、薬剤師、栄養士、看護師の方々に参加いただき、6時間を越える研修となりました。前日に体調不良で受講の辞退を申し入れた方にも急遽ZOOMに切り替え、すべてのセッションで積極的に意見交換をすることができました。説明する医師役、説明を受ける患者役などの実体験、さらにはチームで患者さんの症例検討をすることで、他職種の意見を聞くことができ、本当に多くのことを学びました。閉会にあたり、松下先生から促されての受講生の感想をお聞きして、今年も良い研修が開催できたと実感しました。



ポジショニング研修

看護部長 戸川 英子

11月26日(土)にPOTTプロジェクト代表、日本赤十字看護大学名誉教授である迫田綾子先生とメッセンジャーナースかごしまの代表理事の田畠千穂子先生をお招きして、院内外の食事介助やケアに携わる職員とともにポジショニング研修を受講しました。

webでの事前講習会を受けていたこともあり、実技に集中して学びを深めることができました。研修後は、各職場にこの技術を伝承していきたいとの感想が多く聞かれました。



POTT in 種子島

【研修会報告】オンライン事前研修11月11・18日

主催: 社会医療法人 國際觀影会 種子島医療センター 施設議下WG 委員: POTTプロジェクト代表 日本赤十字看護大学名誉教授 迫田 綾子 **
共催: NPO法人メッセンジャーナースかごしま 執務: POTTプロジェクト 演習サポート: NPO法人メッセンジャーナースかごしま 代表理事 田畠 千穂子 **

日時: 2022年11月26日(土) 9:45 ~ 12:00 会場: 種子島医療センター 4階大会議室

参加者: 20名+ファシリテーター5名+種子島医療センタースタッフ (準備・調理等)

プログラム: ポジショニング・食事介助の演習 (ベッド・車椅子でのポジショニング)



ポジショニングマスター頑張るぞ！！	参加者感想 (抜粋)	グループに分かれてさっそく実技体験開始☆ 患者役、介助者役、... ファシリテーターがサポートします！
自分の知らない事や体験をして相手側の気持ちなどを知る事ができた。ポジショニングがしっかりする事で食事を食べられる事や誤嚥防止したりと、自分にとていい勉強になりました。	ポジショニング準備が大事。食べ物が見えること、姿勢全体を確認し、背抜き・足抜き・腹抜き、大事だと気づきました。正しい食べ方、楽しい食べ方を学び納得できて良かったです。	身边にあるものでできることや基本の大切さを再確認できました。介助の仕方で身体のうごきや精神面がどちらがうことがおどろきでした。心だんの仕事でも取り入れて実せんしていきたいと思います。
姿勢、ポジショニングでこんなに飲み込みに影響があると思っていませんでした。とても勉強になりました。施設ではベッドで食事をとる方は少ないですが、以前いた方を思い出しながら体験できました。施設全体に周知したいと思いました。	実技演習が多くてとても勉強になりました。今までもポジショニングや誤嚥性肺炎予防には特に力を入れているので、多種類で学び、患者様の為になる開発をしたいです。リハビ、看護、助手など全員でよりよい食事環境をつくっていきたいです。	今まで考えなかった部分まで考えることができ、ポジショニングの大切さを改めて知ることができた。これから役立つスキルなどを多く学ぶことができました。患者役になったときは多くのことを感じることができた。伝承すれば多くの人ができるようになると思いました。

*今後12月各部署で伝承実施、1月は2回目の評価会を計画中。他施設利用者さんのポジショニングは効果をみんなで体感されています。

就業体験学習報告(種子島中央高校編)

令和4年10月12日～14日



まずは、オリエンテーション!



ユニホームに着替えて、病棟へ出発!

病棟では看護師に同行。



3日間、本当に疲れ様でした。

元気な二人のお陰で私たちも新鮮な気持ちで業務に入れた3日間でした。

将来は、ぜひ看護の道を選んでくださいね。 待ってま～す!(^^)!

種子島医療センター 看護部一同

就業体験学習報告(種子島高校編)

令和4年10月19日～21日

今年は10名の生徒さんがやってきました!!



オリエンテーション後に、医局、看護部、リハ部、臨床工学部、検査部、画像診断部、薬剤部、施設設備部に分かれて出発!

(看護部)



コミュニケーションは
看護の基本!!



(薬剤室)



(臨床工学室)

医療機器のこと
は
何でも聞いてくだ
さい!!



【レストランの食事】



黙食で…いただきます!



(リハビリテーション部)



(画像診断室)



(循環器内科)



(小児科)



来年もたくさん来てね!! 職員一同(^_-)-☆

就業体験学習を終えて

事業所名（様子見医療センター）

種子島高等学校 電気科Ⅲ組2番 氏名(牛野将博)

就業体験学習を終えて私はリハビリの方に
2日、施設設備の方に1日間見学をさせて
いただきました。リハビリを見学しての感想は
まず、1人1人性格や障害が違つたので
対応していくにすごいと思いました。
そしてリハビリの先生達を見ていると、たくさん
笑顔があついていたなと思いました。患者さんと
話す時は、目を見て話したり、うなづいたり、
なくさん笑っていて、その仕事力で女性なん
だな、と思いました。

貴重な経験になりました。ありがとうございました。
そして、施設設備を見学してみての感想は、
この仕事だからこそ行ける屋上だ、たり
電気を扱っている部屋などをに行きました。

特に屋上は、景色がきれいで最高でした。
車庫を変えたり、病室をインテリアしたり
していました。大人な仕事もあるんだね、と思
いました。車庫くと、時間か一寸ていくのが
早く感じました。本当にありがとうございました。

貴重な3日間でした。本当にありがとうございました。

就業体験学習を終えて

事務所名（株式会社東京セントラル）

種子島高等学校 普通科 2年生 姓氏（太田、久仁）

とを強調する言葉を多く用いて、文章全体の構成が統一されています。また、文書の最後には「参考文献」として、本章で取り上げた主要な論文や資料が列挙されています。

就業体験学習を終え了

本卷所录 / 一 緒言(四) 201

第二章 宗教的、道德的、政治的、经济的、军事的、社会的、文化的生活

今回、3日間。就業体験学習を通して私が感じたことは、仕事のやり甲斐を感じる瞬間や職業に対するやりたいと思う意欲が湧く。三日間で得たものはとてもたくさんある。次はもう少し成長したい。

18日は緊張や不安で一杯でした。でも、始まると、事業所の方々が皆さんとも優しく、楽しい雰囲気で迎入れてくれました。自然と緊張も無くなりました。自分がやることを精一杯頑張ろうと思うようになりました。実際に高齢者併用車や片麻痺の体験をしたときに、上手に身体を動かすことができたのもどうしありました。介助者の声掛けや支えが非常に大切だなとも感じました。また、患者様とも実際に関わり、仕事を自分の目で見て体験した時に、リハビリはただ治療していくだけではなく、患者様とのコミュニケーションが大切だ、退院した後のことを考へながらリハビリを行っていく、リハビリ職に何をもたらすか深められることがありました。

3日間、1日10時過ぎに腹に感じては、樂しかった、心地温
かくなく、気分がせり出でる感覚のことです。操作がせり出し
感謝の気持ち支持の大切さに加え、この3日間で、自分が道路
運転運営者として、社会貢献者として、充実した

3日間までで出来ました。今回の体験したことと活動して感じたことについて良い進路情報についてもう少しお話しします。

就業體驗學習大綱 3

本章所用之統計方法

科学出版社植物学·卷之三·被子植物·由里及外

今回もう就職体験学習を通じて実際の医療現場で医療者を味わえて良いだ。臨床工学技師の経験では連絡室で門口室を2日間見た。見学することから事務内容のイメージが大きく膨らんだ。また、胸痛の原因をよく察しうるコミュニケーションをヒント的に仕事をしていることが印象的だ。連絡室の仕事は個人的に興味を持った。そこでは看護師さんと協力している姿や患者さんは話をされせているところがMENとして魅力であると思えた。主に機器を使用して裏方のように働くヒューリメーションも2日間見た。臨床検査技師は1日だけだたれかとても長い一日となりた。全員の検査技師で手を貸す工程、2いたむ手作り内容で結果について詳しく教えていただき様々な経験ができた。血液検査を調べる方法を実際にを行うと直感的結果が出てきたことをとても印象的で、一度でも自分で手を貸す工程をしてみないと感じた。患者さんが実際に検査室を行なう結果検査を私自身していただき自分の身体を知りき。かつてなかったこともうれしかった。検査室は報告書返事が疊ねてないとどうも明るく居心地がよめられ、3日間を通じて一番印象に残っていることはオペ室に入ることや手術室で仕事を見学できることで、誰か一人だけてしまえば「成立しない」とか「始める」。手術室は重厚感があり後悔を抱いています。いろいろなことを経験してきました。

就業体験学習を終えて

事業所名(種子島センター)

種子島高等学校 普通科 2年1組 姓氏(山田 真衣)

3日間という短い時間でしたがとても長い時間を感じさせていただきました。今まで想像していた看護師の仕事を体験・見学をすることになりました。とてもたくさんのことを見ることができました。3日間、1日ずつ違う場所で体験を通して看護師の仕事の楽しさややりがいを感じた医療がどれほど必要かということを改めてわざわざしました。また、患者さんに会わせてコミュニケーションを取る中で、患者さんと実際に話をしていく中で、患者さんがどれだけ看護師の人を頼りにしているかを感じるということがありました。患者さんに何度か看護師とお話しをされたことから看護師が火薬などと危険にならなかったことを心配していました。次は私が今、医療を支えなくてはならない医療従事者の方へと未来の医療を支えていけるよう頑張ります。次に看護師になります。

3日間、本当にありがとうございました。

就業体験学習を終えて

事業所名(種子島医療センター)

種子島高等学校 普通科 1年9組 姓氏(坂元 真衣)

10月19日から始まった3日間の種子島医療センター様での就業体験は、本当にとても本当に貴重で有意義な時間でした。私は以前から興味を持っていた医局や様々な診療科を見学させて貰いました。1日目と3日目に見学した整形外科の手術は私にとって最も印象的でした。手術室にX線を入れる手術の環境にもちろん初めて立ち入って、とにかく何にも触れないよう、建物をかけてはいようと立派行動で足を引いていたのに、優しく声を掛けて下さる看護師さん、受験について耳を傾け下さい。何も知らない私に丁寧に手術の説明をして下さった整形外科の麻酔科の先生の言葉が非常にリラックスした状態で色々なことを吸収できました。さすがは分野別。自分の手術成功のために戻ります。その手際の良さ、完璧なチームワークで慎重に手術で次の動きも順調に進める様子に、医療、医療者に対するやういふ感じで思ひ出されました。2日目の手術、高齢者の心臓血管手術に参りました。時折うなづいた患者の夫婦や親戚からの種子島医療センターがいかに親しみやすく地域に根付いているかを感じました。3日間で、約5つの診療科を回り、沢山のこと学びました。また、医師として働きたい。遙かの医療従事者の前に一語に詰め込み、苦しそうに汗をかいて手術室に腰を下す姿に感動しました。私は非常に奮ったされました。今後の道筋、また人生において、これらが非常に有益な経験でした。

就業体験学習を終えて

事業所名(種子島医療センター)

種子島高等学校 普通科 2年1組 姓氏(平川 莉子)

今回のインターンシップでは、セラピストの技術や物の必要性を改めて感じることができました。1日目はまず、リハビリの職業について詳しく教えていただきました。リハビリテーションとは、元の生活習慣に戻ること、生活を獲得していくことを目的であると理解しました。次に、片脚や片足麻痺の体験、高齢者体験などをさせていただきました。実際に体験すると、思っていた以上に動きにくく不便だと感じました。よし、歩き方や手の位置などに細かい注意をしないながら隣で支えることの難しさを学ぶことができました。2日目、3日目はPT、OT、STそれぞれ見学させていただきました。PTは主にトレーニングやマッサージ、歩行練習などの基本的動作外メインでした。OTはマッサージや食事練習、文書を書く練習など日常生活の応用的動作メインでした。STでは、声出しや匂い、患者の食事見学をしたが、声出しや匂いをわりに表情や透明文字板という道具を使用して視覚などで会話を行っていました。様々な病気や怪我をした患者様や認知症の方々が懿かれ囁かれながら他の患者様といわれる中で仕事をしていくのは大変な感覚でしたが、患者様が求めていることを読みとろしていく姿勢を見るとも感動しました。3日間という短い間でしたが、セラピストになりたいと思う気持ちがさらに強くなりました。明るい笑顔は常に持つべきだ、本当にありがとうございました。

就業体験学習を終えて

事業所名(種子島医療センター)

種子島高等学校 普通科 1年9組 姓氏(川畠 大輝)

この度は就業体験学習までおこなっていただきありがとうございました。種々な体験をして良い経験になりました。薬剤師と一緒に学習をし、様々なことを知ることができました。僕が想像していた仕事内容よりもたくさんの仕事があり、驚きました。専門知識だけでなく、周りを見渡せばコミュニケーション能力や柔軟性などを強くいふことにについて必要な能力を重要なこととしました。患者様の安全を守るために仕事の仕方を工夫したり、医師や看護師など病院内で情報を共有し合い、種子島の医療を支えていることがとても感動しました。島民に愛される病院である理由が分かりました。

就業体験学習を通して、もとと医療のことについてより深い知識を得られました。そのためには今回自分がいたアースクルーザーの力が高め、今後こうした「けどなく視野を広くして行動するようにしていきます。今度は本当にありがとうございました。

標準体験学習を終えて
卒業園名：千種区立幼稚園
生年月日：平成25年4月10日

標準体験学習を終えて、4月10日（土曜日）卒業式を行いました。午後3時から4時頃まで、各クラスで順番に卒業式を行いました。各クラスは、お祝いの歌やお祝いの舞を披露したり、お祝いの言葉を述べたりと、各自の力で表現する機会が多くありました。卒業式では、園長先生によるお祝いの言葉があり、园長先生が、お子さんたちへ、おめでとうございます、おめでたすことをお伝えされました。また、お子さんたちが、お父さんやお母さんと一緒に、お祝いの歌やお祝いの舞を披露していました。お父さんやお母さんは、お子さんの成長を感じ取ることができたことでしょう。

標準体験学習を終えて

卒業園名：藤原幼稚園
生年月日：平成25年4月10日（土曜日）

今日は4月10日土曜日、晴天の中、藤原幼稚園にて、標準体験学習を終えて、卒業式を行いました。午後3時頃より、各クラスで順番に卒業式を行いました。各クラスは、お祝いの歌やお祝いの舞を披露したり、お祝いの言葉を述べたりと、各自の力で表現する機会が多くありました。园長先生によるお祝いの言葉があり、园長先生が、お子さんたちへ、おめでとうございます、おめでたすことをお伝えされました。また、お子さんたちが、お父さんやお母さんと一緒に、お祝いの歌やお祝いの舞を披露していました。お父さんやお母さんは、お子さんの成長を感じ取ることができたことでしょう。

ふれあい看護体験報告(種子島高校編)

【開催場所】 種子島医療センター

【開催日時】 令和4年7月23日

【タイムスケジュール】

9:00～ 9:30 集合 健康観察(体温測定) 更衣
9:30～11:30 オリエンテーション 当院概要
10:30 職業体験開始(途中1時間昼食休憩)
15:00 職業体験終了
15:15 意見交換会、感想文作成、看護関連の進学について
16:00 終了

今年は7名の種子島高校の生徒さんが来てくれました!!

日ごろの看護業務に加えて、新型コロナ感染症対策の実際を見学してもらい、看護師の役割の大きさについても理解を深めていただける機会といたしました。



いろいろな事を見たり、体験できました★

ふれあい看護体験!お疲れさまでした★



今回の看護体験で私は、看護師の仕事やそのほかのことについて学ぶことができた。看護師として仕事をする上で、専門的な知識や技術が必要なのはもちろんのこと、コミュニケーションが大切なのが分かった。そのほかにも、患者さんや、自分以外の看護師の方と関わる中での気配りが大切だということが分かった。入院生活の中で患者さん達は、ストレスや不安を少なからず抱いていて、それを少しでも楽にしてあげられるように、看護師さんが話を聞いたり、患者さんの家族の話をしたりすることが大切なんだろうなと思った。私も将来、看護師として働きたいと思っているので、専門的な知識・技術を身につけるのはもちろん、コミュニケーション力を今よりもつけようと思う。そして、患者さんのストレスを減らし、一人でも多くの患者さんが社会復帰できるように手助けができるような看護師になりたいと思う。

看護体験を通して、新しい発見が多かった。まず、コロナウイルスの対応について聞いて、印象深かったのは、大変なのは医療従事者だけではなく、患者さんの方も大きな負担があるということだ。医療従事者はそのことを理解した上での対策などを行ったり考えたりして、患者さんを一番に思っていることに気づいた。また、看護師にも認定看護師や特定看護師など、多くの種類があり、さらに委員会もあることに驚いた。医療はチームで取り組まなければ成り立たないのだと思った。今日の体験で看護師になりたいという思いがさらに強まった。大変かもしれないが、それ以上にやりがいのあるすばらしい仕事だと思った。将来的には種子島に帰ってきて働きたい。

私は、職場体験として看護師の仕事を体験させていただいたことがあります。しかし今回は病棟ではなく、二階にある外科だったので、新鮮で新しく知ることがいっぱいでした。重症な患者さんが多い中で、看護師の方々が協力し合って真剣に仕事をしていて、すごくかっこよかったです。どんな状況でも焦らず落ち着いて対応しており、とても心強いと感じました。他にも、看護師の方はもちろん、補助の方やリハビリの方まで、職員がとても仲が良く、楽しそうに仕事をしている様子が心に残っています。きっとすごく大変で忙しい仕事なのに、協力して支え合いながら、患者さんにも優しく、温かく接していて、私もそんな看護師になりたいと心から思いました。

患者さんや看護職員とのふれあいを通して、看護の仕事や患者さんの置かれている現状を理解していただけたと思います。その中でも、初めて見る事や聞くこと多かったです。一日笑顔で終えることができました。皆さんのかわいい笑顔で、患者様たちはたくさんの元気をいただきました。お疲れ様でした。

3年
名前
得重文一 愛音

今回、6月の間に、内科の外来を受けた。この中でも、春温流行の由で、10例が発症して入院する事になった。その中で、春温に罹った者には、高熱、頭痛、悪寒、寒熱を併せて、胸膜炎や心膜炎による胸痛、心悸、心電図異常などの症状が見られた。また、病状の進行度によっては、嘔吐も併発される。そのため、多くの患者が、午後から午前までの間、寝たきりとなってしまう。しかし、この病状の中でも、入院せずに自力で対応できるものもある。それは、軽度の発熱、頭痛、悪寒などである。しかし、これらの中でも、発熱が持続するか、頭痛が強くなるなど、状況が悪化する場合は、必ず医療機関を受診するべきである。

名前
武川愛輝

今回の春温では、私は、看護師として、患者さんたちの看護を行った。また、患者の立場から、看護師に対する感謝の言葉を聞き取った。その中で、最も印象的だったのが、「看護師さんは、話を聞いたり、患者さんの家族や親戚の人達の手元に、手紙を書く」という言葉だ。これは、看護師による手紙を書く行為であり、それが、患者の立場から見ると、非常に感謝されるべき行為である。しかし、一方で、看護師が、患者の立場から見ると、非常に感謝されるべき行為である。しかし、一方で、看護師が、患者の立場から見ると、非常に感謝されるべき行為である。

今日のみれあい看護体験を通して、看護師の方々の仕事を見学することできました。午前中のオリエンテーションでは電気カルテを使ってスタッフ同士が情報共有する二とじ患者さんへ満足してもらえた医療を提供していくことやコロナ禍での医療現場の状況を知ることができる。私は病棟に入院のおじいちゃんに病棟で初めてたまごの病棟看護師の方々を近く見たり体験したりして看護師の仕事を大くび見た。

三回
二組
名前 山下 麻衣

Wと同じ目標の高さにしてあります。
から話を聞いていたので私も将来働く話を聞いています。今日は本当にいい経験をすることができました。ありがとうございました。

年
組
名前

三年二組	名前	山之内 ひかり
------	----	---------

三年二組	名前	山之内 ひかり
------	----	---------

今日の午後、あい看護体験をしてきました。私は、職場体験として看護師の仕事を体験するせていただいたことがあります。しかし、今日は病棟ではなく、二階にある外科でした。そこで、新鮮で新しく知ることが多い面白いでした。重症な患者さんが多い中で、看護師の方々が協力して真面目に仕事をしていく、すこかっこよがったのです。どんな状況でも患者さん着いて対応してねり、とても強いと感じました。他にも、看護師の方はもちろん、補助婦の方やリハビリの方まで、職員がとても仲が良くて、楽しかったです。きつとすじく大変で忙しい仕事なのに、協力して支え合いながら、患者さんにも優しく、温かく接していく私が、もそんたる看護師になりたいと強く思いました。

明るく、優しく、患者さんに丁寧強くと見てもらえるような立派な看護師になれるよう、努めています。本日はとても貴重な体験をさせていただけ、本当にありがとうございました。職員の方々とても機よく、楽しく活動することができました。

三年
一組
名前

仙田 沙也加

は、今日の小会合い看護体験で、いろいろな体験ができたよした。心臓の音を聴いたり、血圧を測りたり、車イスに乗ったり、患者さんとコミュニケーションをとったりして。私は今日の体験で、患者さんとコミュニケーションをとることの大切なことだと分かづけた。病棟での体験の最後に、患者さんとコミュニケーションをとる時間が長くなりました。その時に、どう話題を出せばいいのか分からなくて、シートにしてしまった。

販賣部 20×20 脳科学プリント【すたべんドリル】 <https://startop.co/sutaben/>二年
一組
名前

仙田 沙也加

と話す患者さんの舉しそうな顔を見ると、とても嬉しい気持ちになりました。人の役に立てる事は素敵だなと改めて思いました。私も見られて、良い小会合い看護体験ができました。今日は、お忙しい中、本当にありがとうございました。

二とがおりました。勇気を出して、自分から質問してみると、患者さんがそれに答えてくれて、嬉しかったです。また、近くで看護師の方たちが働くのを見て、本当にすごいなと思いました。院内の廊下を歩いている患者さんや入院されている患者さんと話しました。病室からコールされたらすぐに向かってお詫しやお慰いをきへたり、また、患者さんが言つた前へ氣づいていたりして、私も二人で看護師になりたいと思ふよでした。看護師さん

販賣部 20×20 脳科学プリント【すたべんドリル】 <https://startop.co/sutaben/>

看護体験を通して、新しい発見があり、了。まずコロナウイルスの対応について聞いて、印象深かったのは、大変なのは医療従事者だけではなく、患者さんの方も大きな負担がかかるということだ。医療従事者はそのことを理解した上で、対策などを実行したり考ふたりして、患者さんを一番に思っていろいろことに気づいた。また、看護師にも認定看護師や特定看護師など、多くの種類があり、さらに委員会もあることに驚いた。医療はチームで取り組まなければ成り立たないのだと思った。

そして、実際に看護師さんの仕事を体験させてもらいう一番難しかったのは、患者さんとのコミュニケーションだ。どこまで踏み込んでよいのか考えすぎてしまい、上千くめ取りができない。看護師さんは患者さんと一緒にコミュニケーションをとるときに、特に高齢の方には昔の頃の語や家族の話をすらと上手く取り扱うなど、たたかみながらしてからしくなりました。看護師さんは患者さんとコミュニケーションをとるときに、特に

えだ上で話していくすごいと思った。今日の体験で看護師になりたいと思った。さうに強かった。大変かもしれないが、それ以上にやりたいのああ可是らしい仕事をしたい。将来的には檀子島に帰ってきて働きたい。

3年
1組
中村花菜

3年
1組
中村丸菜

二年
看護師
山下玲奈

今回、ふれあい看護体験に参加させてもらひ医療従事者の方から直接話を聞ける良い機会になりました。私は実際にナース服を着て、体験できたことはとても新鮮でうれしかったです。はじめに、病院内を回って感染症対策について見たときに多くの対策がとられており、私が想像していなかったくらいに厳重にされています。印象的だったのはコロナ感染者が通常中でも私が驚いたことはコロナ感染者が通常ほとま、欣然てやん看さんには分からぬかうに別名で呼びがけていたことです。そこでやはリ連携プレーが大切なのだとと思いました。二つ目に、感染症認定看護師の下江さんから話を聞けたことです。病院内でトラスターが発生したときの対応、認定看護師についてのことをたくさん教えてもらい、初めて知るところが多く勉強になりました。私はたくさん勉強して、頼りがいのある看護師になれて地域に貢献できようになりました。私はたくさん
--

原稿を 20x20 無料プリント【すたべんドリル】 <https://startoo.co/stapen/>

医療講座

西之表市高齢者支援課 西之表市地域包括支援センター主催による地域のみなさまを対象にした出張「医療講座」は、しばらく活動を見合させていましたが、新型コロナウイルス流行が落ち着き始めた令和4年6月から開始しました。当日の状況を判断しながらの開催で、中止をよぎなくされた回もありましたが、9回開催することができました。

	日時	地域/団体	場所	参加人数	講師（医師）
1	6月9日（木）	なでしこ会	榕城中目公民館	30	田上寛容
2	7月7日（木）	大野カシミヤ会 平山こしき会	安城中央公民館	13	田上寛容 研修医 永坂・横田
3	9月1日（木）	深川がんばろう会	コロナまん延のため中止	15	
4	10月13日（木）	むらさき元気会	伊闌浜脇公民館	10	田上寛容 研修医 安元・大村
5	10月20日（木）	現和上之町・下之町 ひまわりクラブ・こすもす会	現和下之町公民館	12	田上寛容 研修医 庄・緒方
6	11月10日（木）	池野しょうぶ会	下西池野公民館	16	田上寛容
7	11月17日（木）	住吉中之町 なかよし会	住吉中之町公民館	13	田上寛容 研修医 田中
8	11月24日（木）	すみれ会	城公民館	12	田上寛容
9	12月8日（木）	本村元気アップ教室	住吉中央公民館	21	田上寛容 研修医 安田・久保
10	1月12日（木）	よきの きらきら	住吉下熊野公民館	12	田上寛容 研修医 藏内



令和5年1月12日(木)に「住吉下熊野公民館」で開催された医療講座の講師を務める田上寛容理事長。